



本流、なかなか友釣りできず

6月1日に解禁した大井川本流は、河床の状態が悪く鮎も小さめで、友釣りは1か月余り遅れている印象です。また、7月に入ってから雨や台風11号の影響で上流部ダムが放水を開始し、濁水がいつまで続くのか心配されるどころです。



① 遡上

採捕数量530kgを予定した河口の稚あゆ採捕は、5月10日に425kg (▲105kg)をもって終了しました。遡上期の4月は濁水の影響を受けたのか稚鮎の群れが少なく、大きさも5~8cmとやや小さめでした。

② 放流

例年4月初旬から5月にかけて順次行われる種苗センター産の稚鮎放流も濁水の影響を受け、予定より1か月遅れて5月11日から実施し、天候や河川状況を見ながら駆け足の放流となりました。



2015年鮎放流 計 2,000kg (予定)

月日	種別 (平均重量)	数量	場所
4/2~25	河口産 (3~4g)	300kg	伊久美川 (小川~川口)
5/11	人工ふ化 (6~10g)	300kg (30kg)	本流 (谷口橋、鎌塚、北中前) 大代川2か所 ※サービス分
5/20	人工ふ化 (10g~)	300kg	本流 (鍋島、鶴網、北中前)
5/22	人工ふ化 (10g)	200kg	本流 (神座、北中下流)
		100kg	伊久美川 3か所
5/28	人工ふ化 (10g~)	300kg	本流 (鍋島上、神座、牛尾山鼻)
5/29	人工ふ化 (30g~40g)	300kg	伊久美川 20か所 (中平~川口)
7/22 (予定)	人工ふ化 (40g)	100kg	伊久美川
未定	予備	100kg	

現在までに本流 1,100kg、伊久美川 700kg、大代川 30kg、計 1,830kg (うち 30kg サービス分、約 22 万尾、)を放流しました。河川が回復次第、本流と伊久美川に合わせて 200kg の追加放流を行う予定です。



釣り人で賑わう中平地区

6月10日、伊久美川好漁!

笹間川と同時解禁した伊久美川は、笹間川が濁水により出漁できなかつたため、平日にもかかわらず100名以上の友釣り客で賑わいました。

解禁日は前日の雨で水量も回復したため、二俣地区から川口地区までまんべんなく釣り人が入り、解禁日の最終釣果は平均で15~40尾(13cm~18cm)。多く人で70尾以上との声も聞かれ、多くの人が友釣りを楽しみました。

— 第4回 釣り教室 —

6月14日(日)、雨上りの空の下でやまゆり(伊久美川)を会場に釣り教室を開催しました。「広報しまだ」で募集したこともあり、申し込みは定員いっぱいの友釣り18名、雑魚のエサ釣り19名となりました。

今回は過去一番の好条件となり、今年こそはたくさん釣らせるぞ!と指導員も気合が入りました。結果、半数以上の参加者が鮎を釣り上げ、2時間足らずで最高7尾の釣果でした。

また、雑魚のえさ釣りも大好評でした。釣り教室も年々にぎやかになっています。これをきっかけに川の生物や環境に少しでも興味を持ってくれたらと願っています。



鮎の友釣り教室



雑魚のえさ釣り教室



カワムツがたくさん!



鮎が暴れて逃げちゃうよ~!

釣り教室は、昨年度から県の補助を受け、内水面漁業啓発事業として実施しています。

県大会、団体準優勝

6月28日(日)、第62回静岡県鮎釣り競技選手権大会が河津川で開催されました。

昨年の地区大会で個人第2位の上田光雄さんがチームに加わり、団体三連覇を目指しチームの総力を挙げて臨みましたが、惜しくも196g差で準優勝となりました。個人では、塚本選手の第7位を筆頭に、白幡選手15位、齋藤選手31位と続きました。主な成績は次のとおり。



出場選手 ※左から
間久(補欠)、齋藤、塚本、津島、上田、白幡

<団体の部>

総重量戦 (g)

順位	漁協名	重量	尾数
1	狩野川	2,202	59
2	大井川	2,008	54
3	新大井川	2,008	49
4	仁科川	1,868	45
5	稻生沢川	1,796	43
6	阿多古川	1,720	49
7	安倍藁科川	1,704	60

<個人の部>

総重量、尾数、高齢の順

順位	氏名(年齢)	漁協名	重量	尾数
1	山田 仁(59)	狩野川	826	21
2	高柳宏人(41)	仁科川	702	16
3	石川勝広(61)	新大井川	604	12
4	前田浩之(52)	東伊豆	598	13
5	紅林太一(66)	気田川	556	16
6	長池文夫(65)	稻生沢川	554	14
7	塚本俊之(50)	大井川	552	17
8	木下 敦(59)	興津川	536	19
9	正木 忍(52)	河津川A	536	16
10	山下道弘(61)	狩野川	506	16

<大物賞> 須田 豊(仁科川) 81g

機関紙「ぜんない」第36号から 川の日本一

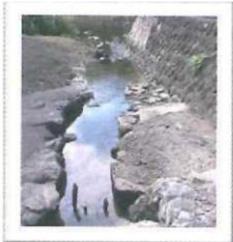
日本には、国土交通大臣が指定した109の一級河川と、都道府県知事が指定した7084の二級河川、市町村長が指定した14253の準用河川があって、それぞれ多様な水辺環境を作っています。この中から、特徴のある川を拾ってみました。

日本一 長い川は？

最も長い川は「信濃川」で367km。源流部は群馬県の甲武信ヶ岳で、水源の標高は2475m。長野県から新潟県を流れ下って、新潟市で日本海へ注いでいます。

日本一短い川は？

和歌山県那智勝浦町を流れる「ぶつぶつ川」で13.5m。この川は、湧水が民家の脇を流れて粉白川(このしろが



手前の湧き水から写真上の粉白川合流までの13.5m(ウキペディアより)

わ)に合流するまでの子供でも飛び越えられそうな川幅の二級河川で、漁業権はありません。

日本一 幅の広い川は？

埼玉県中央部を流れる「荒川」で堤防間の距離が2537m。江戸時代、江戸の町を水害から守るために、荒川の中流域に当たる現在の埼玉県鴻巣市地先に広大な氾濫原を設けました。ここに設けられた堰堤

(水制工)とそれに繋がる橋が一直線に伸び、橋のたもには「川幅日本一の」標識が立っています。ちなみに、この橋の下の通常時の流れ幅は数10m。河川敷の多くは耕作されていますが、時にはこの橋のたもとまで増水して、見渡す限り泥濁りの湖のようになることもあります。

日本一の急流河川は？

日本三大急流といえば、富士川・球磨川・最上川です。

河川勾配は、富士川が2.1%、球磨川が0.96%、最上川が0.88%であることから、富士川が日本一の急流と言えるでしょう。

日本一 漁獲量の多い川は？

河川における平成24年の漁獲量の合計は17,967トンで川別では北海道の網走川がサケを主体に1,814トンで最多です。

アユの漁獲量では、神奈川県相模川が340トンで最も多く、相模川における漁獲量の92%をアユが占めていました。



相模川(寒川取水堰)

日本一大きなアユが獲れた川は？

平成9年6月に、36.5cmの尺アユが釣れたとの情報もありますが、公式には、平成10年に兵庫県揖保川で、35.8cmの鮎が釣れたと記録されています。

このアユは燻製になって揖保川漁協に展示してあります。また、揖保川河畔には、「友釣り発祥の地」と記した石碑が建てられていました。



組合からのお知らせ

投網・追いだもの解禁日に
ご注意ください。

当組合管理区域 9月 1日解禁
(島田市丹原までの本流、伊久美川)

島田市丹原から上流 9月15日解禁
(家山川、笹間川も9月15日解禁です)

追いだも (6,000 円)・投網 (25,000 円) を希望する組合員がいる場合は8月7日までに地区長へ申し出てください。

当組合分の統数は各 30 統と漁業権で定められています。申込状況によってはご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

地区・関係会社対抗大会

7月18日に本流での開催を予定しましたが、7月以降の雨に伴う増水により、開催日及び会場を変更することとなりました。

本大会は本年度で第50回を迎えます。

<開催日> 7月25日(土) 小雨決行

<会場> 伊久美川(本部:やまゆり)

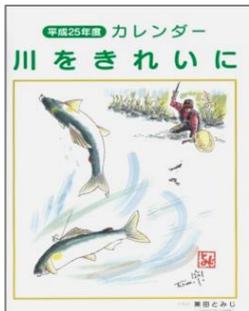
兵庫おとり店下流えん堤~長島橋

<競技内容>

1 チーム5名の団体および個人戦

(総重量、尾数、高年齢の順による。)

2016年 漁協カレンダー



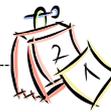
イラストは2013年のものです。

カレンダー(県内河川釣り場・風景の写真)好評のため、来年分を有料でご用意します。

ご希望の方は8月末日までに組合へ部数をお申し出ください。

A2判(7枚綴り)1本400円

表紙は黒田とみじさんの鮎のイラストです。



主な業務 (H26.12月~H27.7月)

- 1 2 / 2 県内水面組合長会議
- 3 資産運用委員会 ・有価証券保有について
- 9 県内水面中部地区連絡協議会(静岡市)
- 1 1 あゆ発眼卵放流(~12/23頃、30万粒)
- 1 6 第4回理事会
- 2 2 県内水面臨時総会
- 2 6 冬季休暇(~1/4)
- H 2 7
- 1 / 2 6 監事会(26年度下期、決算監査)
- 2 / 3 花火打上従事者講習会
- 5 組合員資格審査委員会(漁業日数)
- 6 資産運用委員会
- 9 河口産稚鮎需給調整会議(天竜川漁協)
- 9、10 河川工事の立会い(復旧)
- 1 2 国交省から工事説明(H26年度補正予算)
- 2 5 第1回役員会 ・総代会提出議案の審議ほか
- 2 7 タカラエムシー説明 ・大代川への工場排水
- 島田土木から工事説明(H26年度補正予算)
- 3 / 1 あまご解禁
- 1 3 工事現場立会い(復旧)
- 1 8 大井川砂利対策協議会へ出席(島田土木)
- 2 1 通常総代会(プラザおおるり)
- 本人出席45名、委任状40名、計85名
- 2 4 第60回県内水面漁連通常総会へ出席
- 2 7 焼津水産高校に河口産稚あゆ30kg配給
- 4 / 2 第1回放流(伊久美川、河口産110kg)
- 9 伊久美川カワウ対策(テーブル張り)
- 1 3 カワウモニタリング調査①(3地点、6名)
- 〃 県内一斉カワウ追い払い(4/14~4/23、10日間)
- 1 9 有害駆除開始(4/19~5/31)
- 2 2 大井川河川敷地利用協議会(国交省静岡)
- 2 3 島田土木に申入れ ・河川工事について
- 2 4 カワウモニタリング調査①(3地点、6名)
- 2 5 カワウパトロール
- 〃 伊久美川魚道土砂排除(手作業)
- 5 / 6 新大井川漁協へ配給(河口産75kg)
- 9 カワウパトロール
- 1 0 河口産稚あゆ採捕終了(425kg)
- 1 1 新大井川漁協へ配給(河口産20kg)
- 〃 島田土木より工事説明
- 〃 国交省より河川工事説明
- 1 4 組合員資格審査委員会(新加入者の審査)
- 16,17 漁場標示旗設置(鍋島~JR鉄橋)
- 2 0 伊久美小児童による体験放流
- 2 2 第2回役員会
- ・組合員資格審査、釣り振興大会ほか
- 2 7 県大会選手打合せ
- 6 / 1 大井川本流鮎解禁、役員監視開始
- 4 大井川漁場管理運営協議会
- 5 伊久美川テグス撤去
- 1 0 伊久美川鮎解禁
- 1 4 第4回釣り教室
- 1 6 玉石還元作業(高熊)
- 2 3 あまご放流7000尾
- 2 8 県あゆ友釣り競技選手権大会(河津川)
- 7 / 6 うなぎ放流20kg(約600尾)
- 2 2 伊久美川へ放流100kg(予定)
- 2 5 第50回地区・関係会社対抗大会(伊久美川)